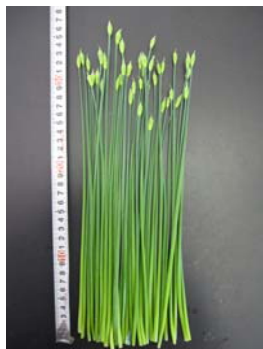


ハナニラの栽培技術の検討



ハナニラ‘マルイチポール’



慣行区(春播き苗、6本/株、800株/a、5℃加温栽培)
(4月15日撮影)

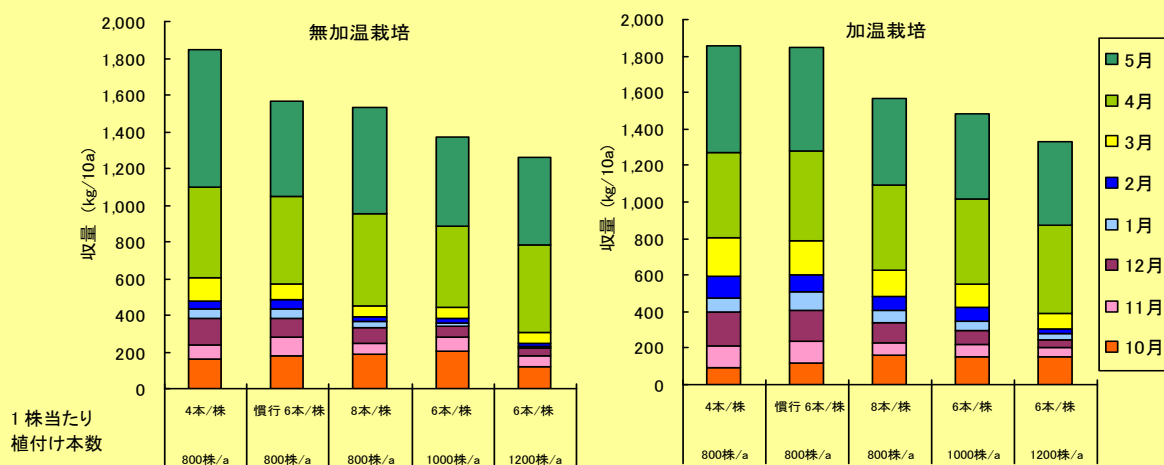


図 栽培方法の違いによる収量への影響 (左図:無加温栽培、右図:11月19日より最低夜温5℃加温栽培)

耕種概要: 播種3月17日、定植7月1日、株養成期間100日間、収穫開始10月15日

慣行区: 4条/うね、条間28cm、株間28cm、6本/株、800株/a

ハナニラ‘マルイチポール’は食味や食感が良く、調理も簡単なことから、県では今後消費拡大が見込める有望品目の1つに選定しています。しかし、栽培方法はまだ十分に確立されておらず、収量が低いことから、当試験室では収量3t/10aを目指した栽培試験に取り組んでいます。

ここでは、春播き苗の栽植密度、1株当たりの植付け本数の試験結果を報告します。

800株/a植えて1株当たりの植付け本数を4本、6本、8本と検討したところ、本数が多いほど初期収量はやや多くなりましたが、5

月までの総収量は6本/株や4本/株で多くなりました。栽植密度については、800株/a、1,000株/a、1,200株/aの3段階を比較したところ、800株/a植えが最も収量が多いことが明らかになりました。また、最低夜温5℃加温栽培下では、葉の枯れが少なくなり無加温栽培と比較して収量がやや向上しました。

引き続き、さらに栽植密度を下げた疎植栽培やハウスサイドを3重被覆にした保温による収量向上について検討しています。

(山間試験室 横山知紗 0887-72-0058)

高知県農業技術センターニュース 第58号

平成22年1月1日

農業技術センター

〒783-0023 高知県南国市廿枝1100

TEL (088) 863-4312

FAX (088) 863-4313

農業技術センター山間試験室

〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王3523-7

TEL (0887) 72-0058

FAX (0887) 72-1544

<http://www.nogyotosa.pref.kochi.lg.jp/kikan/kcnkyu/scho.html>

編集発行 高知県農業技術センター

所長 前田 幸二

果樹試験場

〒780-8064 高知市朝倉丁268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyotosa.pref.kochi.lg.jp/kikan/kcnkyu/kajuhon.html>

茶業試験場

〒781-1801 吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyotosa.pref.kochi.lg.jp/kikan/kcnkyu/cha.html>